

# 日中対照言語学会会報 (No.26)

2014年5月10日(土)発行 会報担当:高橋弥守彦

## 目次

1. 日中対照言語学会第31回大会(2014年度春季大会)プログラム
2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果(2014年4月15日)
3. 常務理事・理事の推薦について

※ 事務局より

## 日中対照言語学会第31回大会(2014年度春季大会)のご案内

下記により日中対照言語学会の春季大会が開催されますので、会員の皆様におかれましては、ふるってご参加ください。また、非会員の皆様も下記の講演や発表にご興味があれば、ご参加ください。心から歓迎いたします。

### 記

日 時: 2014年5月25日(日) 午前9時00分より午後5時30分まで

会 場: 大東文化会館ホール(池袋で東上線に乗り換え、各駅停車で7番目の東武練馬駅下車、徒歩4分)

参加費: 1000円(会員、非会員共通)

### プログラム

受付(9:00-)	総司会 竹島毅(大東文化大学)
大会開催挨拶 鄭新培(大東文化大学)	9:20-9:30
開会の辞 高橋弥守彦(大東文化大学)	9:30-9:40
研究発表1. 所有関係の現れる中国語の受身文について 劉爾瑟(大東文化大学博士後期課程1年)	9:40-10:15
研究発表2. 日中因果関係の下位分類について — 目的表現と条件表現との連続性について — 劉会禎(北京外国語大学博士後期課程) 以上司会 加藤晴子(東京外国語大学)	10:15-10:50
<b>休憩(15分: 10:50-11:05)</b>	
研究発表3. 中国語における結果補語の文法性と結果構文の繋がり 李鵬(大東文化大学博士後期課程2年)	11:05-11:40
研究発表4. 可能表現における日中対照研究~自動詞・他動詞を中心に~ 魏美平(大東文化大学博士後期課程3年) 以上司会 安本真弓(高千穂大学)	11:40-12:15
<b>昼休み(60分 会館の近くにレストラン多数あり)</b>	12:15-13:15
講演 日本語における使役文と受身文との似通い — 使役文からの検討 — 早津恵美子(東京外国語大学)	13:15-14:15
研究発表5. “被字句”の受け手と仕手との関係について 高橋弥守彦(大東文化大学) 以上司会 続三義(東洋大学)	14:15-14:50

**休憩** (15分：14：50－15：05)

研究発表 6. 漢語「不便」について—日中対照言語史的考察— 15：05－15：40  
張潔 (京都大学大学院)

研究発表 7. 中国語の“能”と“会” 15：40－16：15  
王慶 (九州外国語学院・専任講師)

研究発表 8. 程度表現の対照研究—命令・依頼のモダリティを中心に— 16：15－16：50  
時衛国 (愛知教育大学) 以上司会 王学群 (東洋大学)

総会 16：50－17：20

**閉会の辞** 続三義 (東洋大学) 17：20－17：30

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費：社会人 4000 円、院生 2000 円)

## 2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果

日時：2014 年 4 月 19 日 (土)

場所：東洋大学 8 号館 2 階会議室

出席者：高橋弥守彦、王学群、続三義、安本真弓、竹島毅、椿正美

議題

(1) 2014 年度日中対照言語学会春季大会プログラム

ホームページへの掲載、各会員へメールと会報により連絡

(2) 執行部役員候補の件

基本的な執行部人事が王学群事務局長より発表され、承認を得た。2014 年度の春季大会に新執行部が総会で承認された後、続三義理事長 (次期理事長候補) より発表されることとなった。

(3) 次回開催校と日時

関西地区で開催されることとなった。次期理事長より具体的な連絡を関西の副理事長と連絡をとりながら決定をすることとなった。

(4) 次号学会誌締め切りなどの件

次回学会誌の原稿締切は例年通り 9 月末日とする。査読委員長などは次期拡大常務理事会で決定する。

(5) ホームページの件について

次期理事長より、前ホームページ担当者に連絡を取り、早い段階で新しいホームページを使いやすくすることが承認された。現ホームページ担当者に対する管理料などの話し合いがおこなわれた。こちらは現理事長が議事録 (会報) を調査をして支払うことが承認された。

(6) その他

お詫び：昨年 12 月冬季大会時の拡大常務理事会では、出席者として高橋弥守彦、豊嶋裕子、余維、張黎、王学群、彭飛、下地早智子、于康、続三義、椿正美、竹島毅、山口直人、安本真

弓の各会員名を挙げたが、このうち、于康会員は出席されていなかったため、会報担当者（高橋）のミスによる間違いであることを明記し、お詫び申し上げます。

#### 報告

##### (1) 特集号（モダリティ）の件

2014年12月下旬の原稿締切りが確認された。編集などは王学群会員が中心となることが再確認された

##### (2) 学会誌（第16号）の件

掲載本数が少ないので、日本側の各会員と北京支部への連絡を密にすることと、および査読体制の充実化の話し合いが行われた。

##### (3) その他

2014年3月に高橋会員により、昨年3月に引き続き、中国人会員2名との中国支部での研究発表があったことが紹介された。

### 3. 常務理事・理事の推薦について

関西地区では常務理事・理事はまだ若干少ないので、次期執行部の方々に関西地区の理事や会員に引き続き呼びかけて増やす方向で働きかけてもらうこととする。

(以上文責 高橋弥守彦)

#### 事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（Lwn365@yahoo.co.jp）、または竹島毅理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人4000円、院生2000円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。メール番号の不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について  
2014年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては、次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いたします。